

## 2月 みらい塾 活動報告

### 「大間々中学校での出前授業」

私たちは高校のすぐ北側にある大間々中学校へ出前授業に行きました。「アンコンシャスバイアス」という無意識の偏見、差別に気づいてもらうことを目的として行いました。私たち高校生が一方的に話して伝えるのではなく、具体例や、クイズ形式など中学生が楽しみながら学べるような授業を行いました。中学生に書いてもらった授業の感想を後日読ませていただいたのですが、「楽しみながら学べた」、「アンコンシャスバイアスについて知れた」などと、私たち高校生が伝えなかったことを伝えられていたのでよかったです。また、高校生と中学生では考え方が違うところもあるということを私たち高校生も学べて、とても良い経験になりました。もっとたくさんの人にみらい塾で学んだことを知ってもらうためにこれからも様々な活動を行い、さらなる発展に努めて行きたいと思います。【武井】



### 「日光明峰高校との大間々町フィールドワーク」

私達は2月18日に日光名峰高校の皆さんを大間々の町に招待し、大間々の町にあるお店や魅力を感じてもらえるようなフィールドワークを実施しました。前日には下見をし、どのようなルートで周ると良いか考えながら、町を散策しました。

今回、初めて高校生で同年代の方々と交流することで、新たな視点からの考え方を知るきっかけとなり、私達のこれからにつながる交流となったと思います。

また、日光明峰高校のみなさんが取り組んでいる「日光学」のお話も伺うことができました。私達の活動に近いものもあり、これからその相違点を見出し、それをどのように大間々の創生活動に活かし取り込んでいくか考えて行きたいです。

そして改めて、下見をしたり、町を周ることで、大間々の魅力や良さ、温かさを間近に感じる事ができ、とても良い経験になったと思います。大間々に来てくださった日光明峰高校の皆さん大間々の町にお越し頂きありがとうございました。みなさんとこれからも継続的に交流していきたいです。そして、大間々の商店街の皆さんもご協力頂きありがとうございました。【江原】





## 「スタディーツアーin東京」

2月24日にユニセフハウスを訪問しました。行って分かったことは私達の暮らしは当たり前ではなく、今でも自分の健康を脅かされ、家族のために学校に通わずに労働している小さな子どもたちが世界にはいるということです。子どもの自由と健康を守るために子どもの権利というものがあり、その権利をどの子どもにも平等に与えられるべきだと思いました。その後、中野区にある新渡戸文化中学校を訪れ交流しました。そこでNiToBe CoLoRsのみなさんの『日本初のFSC認証用紙使用の国産おりがみ』の開発の発表を聞きました。その発表を聞いて、NiToBe CoLoRsさんの絶滅危惧種の動物を折り紙で作れるようにし、楽しみながらみんなに知ってもらえるような商品でとても凄いなと思いました。みらい塾でもNiToBe CoLoRsさんのようにSDGsと関係する開発がなにかできないかと思いました。そしてレンガ坂へ行った際に、たくさんのシャッターアートを目にしました。シャッターが開いていても閉まっても温かみを感じられるような仕組みとなっていることが分かりました。そこで、みどり市のシャッター街にもシャッターアートを取り入れることで街の活気がさらに溢れるものになると考えました。【岩崎】



## 「玉川大学まちづくりコンテスト」

わたしは2月25日に玉川大学で行われた「第3回高校生まちづくりコンテスト」の審査員を務めました。内容としてはコンテストで見事決勝大会まで進んだ5つの高校の地域活性化プレゼンテーションに対し、質問を投げかけ、最終的にどの高校から観光庁長官賞を選ぶか審査をするものでした。わたしは初の高校生審査員だったことと、初めてコンテストのような場で責任が問われる審査をしたため、いつもより荷が重く、とても緊張しました。実際、どの高校もそれぞれ特色のあるすばらしいプランであり、とても興味深い内容でした。

審査員同士でもかなり迷いましたが、無事観光庁長官賞を決定することができました。玉川大学でお世話になった先生方、学生の皆さん、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。【鈴木】

